



# 日本福音ルーテル教会 北海道特別教区報

第40期第4号  
2021年3月5日  
発行者:小泉基

## 北海道特別教区の新しい1年を展望する

小泉 基

昨年、新型コロナウイルスの影響で道内の往来が閉ざされる日々が続きました。にもかかわらず、イースター以降わたしたちは主の祈りによってつながり、秋にはそれが「ハガキで主の祈り展」として見える形で結実しました(作品はまだ募集中です)。困難さの中にあっても道を拓いて下さる神さまに感謝する1年でした。

今年、わたしたちの置かれた状況は好転せず、見通しは必ずしも明るいものとなってはいません。特に、礼拝に集みにくい、聖餐をともにすることが難しい状況が続いていることは、わたしたちの信仰生活にとって大きな痛みでもあります。けれども逆に言えば、オンラインで、あるいは説教原稿や礼拝の配信・録画を通して、わたしたちがみ言葉に触れ続けることには何の制約もありません。むしろ、よりみ言葉に触れ、み言葉に集中しやすい環境を与えていただいているともいえます。なんとという恵みでしょうか。そのことの喜びに、わたしたちの1年の展望の基礎をおきたいと思えます。そこで、教区総会には主題として「み言葉に 生かされあゆむ 神の民」を提案しました。

オンラインを用いた新しい試みをふたつ。ZOOMのシステムを用いた教区合同聖研が提案されています。春夏秋冬の4つの学期を、教区の4人の牧師が担当します。通年で参加するなら「イエスと出会った人々」「旧約聖書の女性たち」「歴史における宗教改革」「ヨブ記を読む」。これら4つのテーマについて学びを深めることが出来ます。午前だけでなく夜も開講されますから、お仕事をなさっておられる方も学びに加わることが出来ます。もうひとつは「オンライン教区の集い」。道内6つの会堂をZOOMで結んで、おひとりおひとりが大切にしておられる愛唱聖句のわかちあいを共にしようという企画です。初めての試みですから上手くいくかどうかわかりませんが、計画を練りつつ楽しみな思いもしています。

感染状況が落ちつけば、秋には各教会の役員が道央に集って、教区の今後を展望する役員研修会を計画したいと願っています。

例年と同じような計画が立てられないからこそ、今までになかった新しい企画が次々と生まれていきます。神さまへの信頼のもとに、ともにあゆむ1年にしていきたいと思います。

## 各教会の近況報告

### 【函館教会】

小泉 基

クリスマスの前に、教区からの支援もいただいて自立看板が再建されました。LED ライト付で夜は暗かった教会前の通りも明るくなり、英語表記も加えられて外国人観光客にもルーテル教会の存在をアピールすることが出来るようになりました。

クリスマス主日礼拝では、ゴスペルクワイア MSC を通して教会につながった姉妹の洗礼式が行われました。MSC の仲間の祝福もあって礼拝堂の人数制限以上の出席者が与えられ、第 2 会場として準備されていた集会室からも、映像を通して数名が参加しました。イブ礼拝では、MSC からの選抜チーム、"ルーサーファイブ"が、オルガンに代わって会衆の賛美をリードしました。また、オリジナル木製タグがクリスマスプレゼントとして配布されました。

市内で複数のクラスターが発生したことを受け、定期総会は文書開催となりました。2 週間かけて質問や意見を受けつけ、ハガキで投票していただいて、教会規則の改正、役員改選案(全員留任)を含めて、すべての議案が可決されました。

半分倉庫として使われていた小部屋が、記念室=聖餐準備室として整備され、召天者の写真が名前入りで綺麗に並びました。



### 【恵み野教会】

太田 満里子

2020 年のクリスマス燭火礼拝は、コロナ禍を考慮して、例年とは異なった礼拝としました。例年は讃美歌を多く取り入れていましたが、今回は、沢山のキャンドルと奏楽（ハープ、オルガン、トーンチャイム）により静寂の中で迎える心に響く礼拝となりました。

降誕祭礼拝では、礼拝後の祝会に代えて出席者にミニプレゼントをお渡しし、クリスマスの喜びを共に分かち合いました。

2021 年度の教会総会は、1 月 31 日(日)の礼拝後に礼拝堂(例年は集会室)で三密を避けて行われました。総会を無事終え、2021 年度が教会員と共に新たにスタートしました。

今年度の主題は『主と共に』、主題聖句は『見よ、兄弟が共に座っている。なんという恵み、なんという喜び。』（詩篇 133 編 1 節）に決まりました。

コロナ禍において共に礼拝に与る喜びを一層深く感じた一年であったことを心にとめて、2021 年度もこの喜びと感謝を胸に教会での交わりを大切にして、喜びを持って、教会員と共に宣教に励んで行くことが出来るよう祈り求めていきたいと思っています。



### 【札幌教会】

日笠山 吉之

新型コロナウイルスに翻弄された2020年のクリスマスは、例年のように楽しい祝会も出来ず、教会学校の子もたちのクリスマス会も開けませんでした。そんな中ではありましたが、札幌北礼拝堂で受洗者が一人与えられたことは嬉しい限りです。たとえこの世がどんな状況に陥ろうとも、神は宣教し続けてくださっていることを実感しました。

クリスマスの燭火礼拝は3密を回避するため、会堂に集まってもらうことはせず、初めて札幌礼拝堂からオンラインで礼拝を配信しました。(主日礼拝は新札幌礼拝堂から毎週オンラインで既に配信中) いつもは道が混むので来るのをためらっていた方が、オンラインでゆったり参加することが出来た!との声もありました。燭火礼拝に続いて、2月の教会総会も今年は初めてオンラインで行われました。例年のようにスオミホールに一同に会してもらおうと密になるので、3つの礼拝堂をオンラインで繋いで行ったのです。コロナのおかげでオンラインの活用がどんどん進んでいる札幌教会です。

クリスマスから新年にかけて、札幌教会は4名の兄弟姉妹たちが相次いで天に召されました。皆さん札幌礼拝堂で熱心に信仰生活を守られた方たちばかりでした。ご遺族は言うまでもなく、教会員一同、言いようのない寂しさに包まれています。お祈りください。



### 【帯広教会】

岡田 ひとみ

帯広教会の2020年のクリスマスを不思議な思いで迎えました。イエス様の生誕を教会員と祝う会ができないからです。礼拝後、教会員で丹精した向日葵・朝顔・秋桜の種を喜びの種としてわかちあいました。次の夏それぞれの地で喜びを花ひらいてもらいたいです。

みんなと祝う事が出来なくても礼拝で主を賛美することが出来ます。24日(木)の燭火礼拝&映画観賞会では久しぶりに出席された方と短い交わりの時をすごせました。25日(金)の降誕祭礼拝は少数の出席者で守ることが出来ました。26日(土)は浦幌で降誕祭礼拝をいつもの方たちと守ることが出来ました。私自身3回も降誕祭礼拝に出席でき、その度ごとに喜びを与えられたことに感謝いたします。

2月7日(日)の総会は、正議員全員が出席か委任状での意志表示をしてくださいました。コロナ禍にあっても帯広教会では礼拝を守り祈りあうことが出来ました。集えない方を覚え祈りあえることに感謝いたします。今年はインターネット環境を整え教会員も新しい技術を獲得し、次の時に備えたいと思います。今年は春の訪れが早いそうです。多くの方が躊躇無く教会に咲く花々を見に来ることができ、喜びを分かち合うことができますように!



# オンラインで聖書研究会！

中島 和喜

昨年から社会全体でオンラインを活用する流れが盛んになってきました。教会でもオンラインで礼拝に与ることができるようになり、多くの人にみ言葉が伝えられるようになったというのは喜びでありましょう。そんな折に教会員が素晴らしいアイデアを伝えて下さったのです。「これだけオンラインで様々なことができるなら聖研もオンラインで出来るんじゃないんですか？」と。私は「なるほど」と思い教区内の牧師に何げなく話したところ、話はすんなりと通り、教区常議員会で協議された際にも「ぜひ！」という太鼓判を押していただき、4月から実施されることとなりました。おしゃべりが好きな私としては話す場が与えられることはうれしい限りですが、言い出しっぺということで責任も感じております。

聖書研究と言いながらも、4人の牧師がそれぞれ7回という時間に限りがあるため普段のように聖書を1

## オンライン教区合同聖研2021

全道から集おう み言葉にあずかろう

春夏秋冬 朝クラス毎週木曜10:30~11:30  
4学期制 夜クラス毎週水曜19:30~20:30

お名前と教会名を<jelchokkaidou@gmail.com>宛にお送り下さい。ZOOMのIDを返送致します。申込随時可能です。



学期 4/8.15.22.5/6.13.20.27  
「イエスと出会った人々」  
担当：小泉基牧師



学期 6/3.10.17.24.7/1.8.15  
「旧約聖書の女性たち」  
担当：岡田薫牧師



学期 9/2.9.16.30.10/7.14.21  
「歴史から見る宗教改革」  
担当：中島和喜牧師



学期 10/28.11/4.11.18.25.12/2.9  
「ヨブ記を読む」  
担当：日笠山吉之牧師

一覧は朝クラスの開講日です。夜クラスは原則その前夜の水曜日。  
夜クラスは申込みが3名以下なら開講されません。

節ずつ読み進めていくのは難しく、今回はテーマに沿って学びをしていくことになりました。普段の聖研とはまた違った学びが得られると思います。

そして何よりも北海道に住む信仰の仲間と、画面越しとは言え、毎週集えるということにこそ意味があると思います。北海道特別教区はそれぞれの教会が離れているために中々お会いすることはできません。しかし今やオンラインを介せばいつでも会える時代となったのです。まだオンラインが苦手だと感じている方にも教会でサポートいたしますので、ぜひ参加していただければ願っています。

社会的距離感が必要だと言われる時代に、かえってそれぞれの距離が縮まった！後から振り返った時にそんな感想を抱けるように、皆で共に集いましょう。

### 教勢動向（12月1日～2月28日）

函館教会	・受洗	荒木奈央未（12月20日）	
恵み野教会	・召天	井上律子（2月27日）	
札幌教会	・受洗	原田賀代子（12月19日）	
	・召天	北村和子（12月13日）	大賀美紀子（12月19日）
		松原睦哉（12月30日）	諏佐知佳（1月30日）
	・転出	野口宏海（1月17日）	野口英子（"）